

2004年7月23日
東日本旅客鉄道(株)

2004年10月ダイヤ改正について

JR東日本では、2004年10月に湘南新宿ラインの増発や同線区及び宇都宮線・高崎線の普通列車でグリーン車の営業運転を開始するなど、首都圏の直通サービスや着席サービスを大幅に改善します。お客さまにますます便利にご利用頂ける施策を満載したダイヤ改正を実施します。

この度、その詳細がまとまりましたのでお知らせします。

《ダイヤ改正の主な内容》

湘南新宿ライン・宇都宮線・高崎線

通勤時間帯を中心とした湘南新宿ラインの増発・到達時分短縮。

新たに普通列車グリーン車を導入。

宇都宮線・高崎線で朝通勤ピーク時間帯に上り上野行列車を増発。

埼京線

りんかい線との相互直通運転を大幅に拡大。

特急列車によるサービス改善

特急「さざなみ」「わかしお」に新型車両投入。

特急「成田エクスプレス」を新宿方面に増発。

《ダイヤ改正日》

2004年10月16日(土)

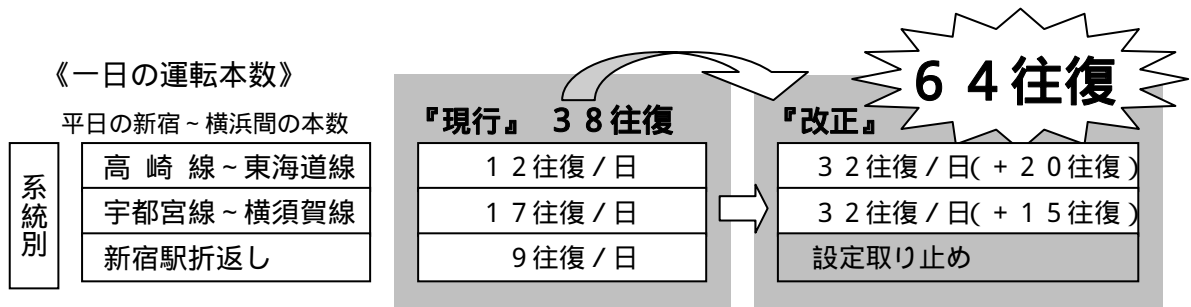
東京圏普通列車のサービス改善

今回のダイヤ改正では、東京圏を南北に縦断し多くのお客さまにご利用頂いている湘南新宿ライン・宇都宮線・高崎線を中心に、列車増発や普通列車グリーン車の新規導入・スピードアップなど、お客さまに満足頂けるさまざまなサービス改善を『集中』して実施します。

1. 湘南新宿ラインの増発とスピードアップ

(1) 通勤時間帯を中心に、運転開始以来最大規模の増発を行います

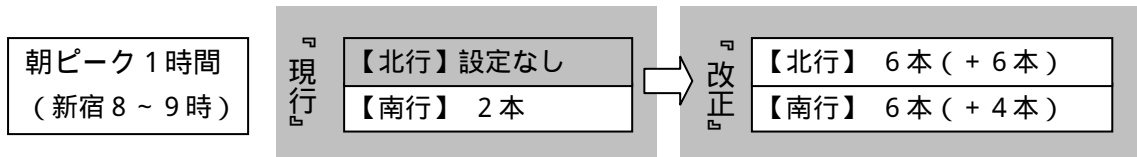
本年6月の池袋駅構内の立体交差化工事などにより、池袋～新宿間の増発が可能になったことから、湘南新宿ラインで運転開始以来最大規模の大増発を行い、一日38往復から64往復(平日)にします。



朝通勤ピーク1時間には、南行(大宮方面 横浜方面)・北行(横浜方面 大宮方面)とも6本運転(現行:南行2本・北行0本)とし、概ね10分間隔の運転により通勤・通学のご利用を便利にするとともに、同一線路を運転する埼京線の混雑を緩和します。

湘南新宿ラインの北行では、今回のダイヤ改正より初めて朝通勤ピーク1時間に湘南新宿ラインの運転を開始し、15両編成6本を増発します。

埼京線の上り池袋～新宿間では、湘南新宿ラインの南行15両編成4本の増発により、埼京線(10両編成)6本分の輸送力を増強します。

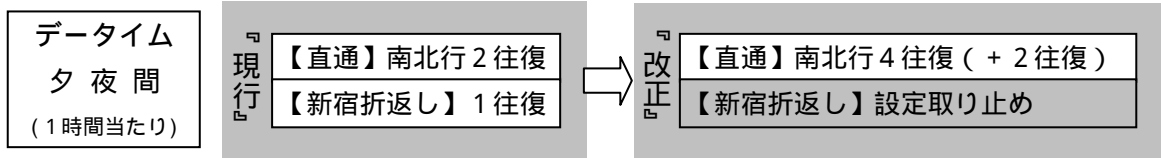


《埼京線上りの混雑緩和(朝通勤ピーク1時間)》

	区間	現行		改正		効果
		運転本数	混雑率	運転本数	混雑率	
埼京線	池袋	20本	211%	20本	168%	43%
湘南新宿ライン(南行)	新宿	2本	175%	6本		7%

混雑率については、現行をもとに改正時を想定しています。

新宿駅10時台から21時台まで、南行・北行とも毎時4本の直通運転を行い、デ-タイム及び夕夜間の運転本数を大幅に増強します。これにより湘南新宿ラインは全ての列車が、東海道線～高崎線・横須賀線～宇都宮線との直通運転になります。



20時台は南行4本、北行3本の運転となります

湘南新宿ラインの増発に伴い、東京駅発着の東海道線・横須賀線の一部、横浜駅発着の東海道線および上野駅発着の宇都宮線・高崎線の一部を、湘南新宿ラインの列車へシフトします。

(2) 湘南新宿ラインに新型車両E231系を増投入します

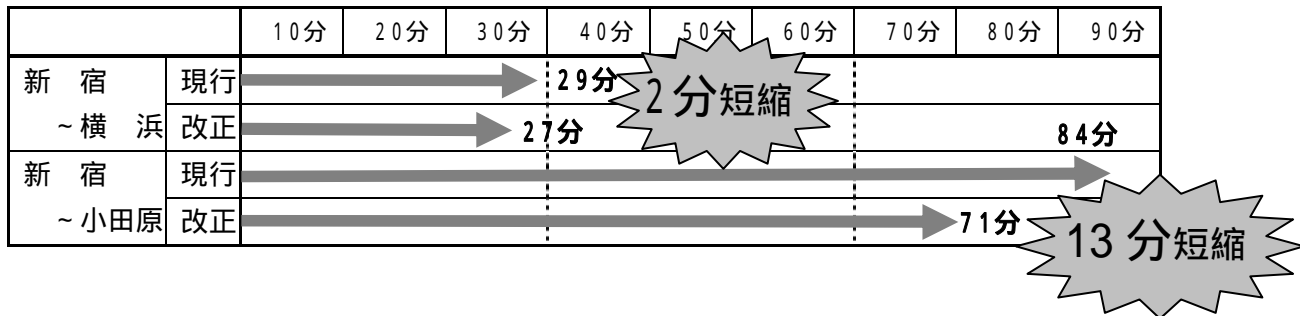
E231系車両を増投入し、湘南新宿ラインの全列車を新型車両に統一します。

(3) スピードアップと「特別快速」の新設により、到達時分を大幅に短縮します

新型車両E231系統一による車両性能向上と設備改良によりスピードアップを図るとともに、東海道線と高崎線を直通する『特別快速』を新設します。これにより最速列車は、現在と比べ、新宿～横浜間で2分、新宿～小田原間で13分の到達時分短縮を図ります。

新設する『特別快速』
 【運転区間・本数】小田原～高崎間にデ-タイム毎時1本運転(平日:南行7本・北行8本)
 【通過駅】東海道線内4駅、湘南新宿ライン内5駅、高崎線内5駅

《到達時分の比較(最速列車)》



2. 湘南新宿ライン等にグリーン車を導入

(1) 普通列車グリーン車の導入とともに新しいサービスを開始します

湘南新宿ラインの宇都宮・前橋～逗子・小田原間、宇都宮線の上野～宇都宮間、高崎線の上野～前橋間においてグリーン車の営業運転を開始するとともに、新たなサービスをスタートします。

普通列車グリーン車の料金を改定するとともに「グリーン定期券」を値下げします。通勤・通学定期券とグリーン券で、普通列車グリーン車にご乗車頂けるようになります。

Suica を活用した「グリーン車 Suica システム」を導入し、車内改札を省略します。グリーン車には「グリーンアテンダント」が乗務し、車内改札とあわせて、お飲み物などの車内販売サービスも開始します。

及び については、東海道線・横須賀線・総武快速線等にも適用します。

グリーン車は3線区とも1編成（15両または10両編成）中、2両連結します。

(2) グリーン車の連結時期について

ダイヤ改正後約1ヶ月で湘南新宿ラインの100%、上野駅発着の宇都宮線・高崎線の約15%にグリーン車を連結する予定です。また、宇都宮線・高崎線へは2006年度初まで引き続きグリーン車を投入し、最終的には約80%にグリーン車を連結する予定です。

(3) 宇都宮線・高崎線で朝通勤時間帯に上り列車を増発します

宇都宮線・高崎線では、グリーン車の導入とあわせて朝通勤ピーク1時間に上り上野行列車を各1本増発し、混雑緩和を図ります。これにより宇都宮線・高崎線とも朝通勤ピーク1時間の上り上野行列車の運転本数は、9本から10本に増強されます。

(4) 総武線の朝通勤時間帯に通勤・通学に便利な特急を増発します

普通列車グリーン車の定期券でのご利用開始とあわせて、通勤・通学における着席サービスを向上するため、平日の朝に総武線特急「しおさい」を増発します。

列車名	編成	運転区間	停車駅
しおさい80号	183系8両編成 (全車自由席)	佐倉発7:04 東京着8:00	四街道、千葉、錦糸町

3. 埼京線・りんかい線の相互直通運転拡大

現在、埼京線は朝及び夕夜間で一部の列車が大崎駅折返しを行っていますが、今回のダイヤ改正では、初電から21時台までの全列車を東京臨海高速鉄道「りんかい線」直通とし、直通サービスの向上と朝通勤時間帯における混雑の平準化を図ります。

《埼京線・りんかい線の直通運転本数（上り：平日）》

朝通勤ピーク1時間		終日	
『現行』	『改正』	『現行』	『改正』
新木場行(直通) 7本	12本	新木場行(直通) 53本	76本
大崎行(折返し) 5本	0本	大崎行(折返し) 30本	7本

4 . 東京圏普通列車のその他の輸送改善

(1) 上越線で新駅を開業します

上越線高崎～井野間に新駅「高崎問屋町(たかさきとんやまち)」を開業します。同駅には、多くのお客さまにご利用頂けるよう快速を含む全ての普通列車(快速「ムーンライトえちご」を除く)が停車します。

(2) 新型車両を増やします

山手線には引き続き、東海道線には新たに車体幅の広い新型車両E231系を投入し、通勤時間帯の混雑緩和を図るとともに新型車両による快適な移動空間をご提供します。

(3) 東海道線 熱海駅での折返し運転を拡大します

東海道線の新型車両投入にあわせ、ご利用の少ない熱海以西へ直通する普通列車(一日53本)を朝夕夜間の20本を除き、熱海駅折返しとします。また、御殿場線への直通列車(一日6本)についても同様に2本を除き、国府津駅折返しとします。

．在来線特急のサービス改善

1 . 特急「さざなみ」「わかしお」に新型車両投入

内房線特急「さざなみ」、外房線特急「わかしお」に新型車両E257系50両を投入します。新型車両は5両編成で、朝夕のご利用が多い時間帯は2編成を連結して10両編成、データイムは5両編成で運転し、お客さまのご利用実態に合わせた輸送力にします。また、E257系新型車両は、バリアフリーと環境(軽量化・省エネ)に配慮した車両で、ドアの開閉をお知らせするチャイムやトイレ内にベビーベットも設けています。

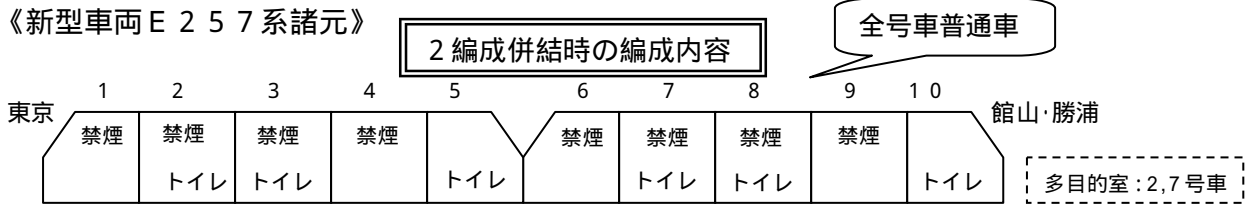
朝・夕夜間の「さざなみ」「わかしお」各4本を10両編成化し、輸送力を増強します。

10両化により輸送力増強する列車

「さざなみ」15号、21号、4号、22号 「わかしお」3号、21号、4号、22号

ご利用の少ないデータイムの「さざなみ」1往復を週末や繁忙期に運転する臨時列車とするほか、夜間帯の「わかしお」1往復を上総一ノ宮～勝浦間廃止します。

《新型車両 E 2 5 7 系諸元》



	最高速度	編成両数	定員	シートピッチ	車体
E 2 5 7 系 (新型車両)	130km/h	5両編成	普通席306名 (10両:612名)	960mm	アルミ合金
183系 (従来車両)	120km/h	8両編成	普通席492名	910mm	鋼製

2. 特急「成田エクスプレス」を新宿・池袋方面に増発

「成田エクスプレス」のご利用が多い新宿・池袋への運転を強化するほか、列車の編成増強や停車駅追加など、成田空港へのアクセスをさらに便利にします。

夕夜間に池袋駅発着の成田エクスプレスを3本（空港行1本、空港発2本）増発します。

【空港行】N'EX 41号（池袋 17:31 成田空港 18:59）

【空港発】N'EX 24号（成田空港 14:43 池袋 16:12）

N'EX 32号（成田空港 16:43 池袋 18:13）

成田エクスプレス4往復の編成増強を行い、全列車を9両又は12両編成とし、一日当たりの座席数を約1,200席増やします。（N'EX 5,17,31,47,16,20,32,48号）

「渋谷」に2本、「品川」「四街道」に各1本、成田エクスプレスの停車を増やします。

ご利用の少ないデタタイムの大宮駅発着の「成田エクスプレス」3本（空港行2本・空港発1本）は、池袋～大宮間の運転を取り止めます。

3. その他、特急列車に関するサービス改善等

(1) 特急「あかぎ」の編成増強と特急「草津」「水上」を含めた輸送体系の一部変更

お客さまのご利用が多い「あかぎ7号」を7両から14両に編成増強します。

デタタイムを中心に7両編成の特急「あかぎ」「草津」「水上」の一部をご利用の見込める時間帯に変更するとともに、2本の列車を併結して14両編成で運転します。

* 『水上5号』(上野 12:00 発)、『草津5号』(上野 13:00 発)

* 『草津7号』(上野 17:00 発)、『あかぎ5号』(上野 19:00 発)

* 『草津2号』(上野 10:00 着)、『あかぎ8号』(上野 11:37 着)

上野 12:00 発に統合

上野 19:00 発に統合

上野 10:12 着に統合

(2) 常磐線の特急「スーパーひたち」「フレッシュひたち」の停車駅を増やします

「フレッシュひたち49号、12号」が十王駅に初めて停車します。

「スーパーひたち」の大甕駅と常陸多賀駅の停車を増やします。(大甕駅：下り2本・上り1本、常陸多賀駅：上下各1本)

(3) 特急列車の定期券利用を拡大します

夕夜間の大船行「成田エクスプレス」6本で、品川から大船までの定期券利用を拡大します。

*『定期券利用対象列車』 成田エクスプレス32号、36号、40号、44号、46号、48号

中央線特急「スーパーあずさ」「あずさ」は、全列車・全区間の自由席に定期券利用を拡大します。

(4) 特急「スーパー白鳥」「白鳥」「つがる」の停車駅を追加します

東北本線・津軽海峡線を運転している、特急「スーパー白鳥」「白鳥」「つがる」の一部列車の停車駅を追加し、「三沢」「野辺地」「蟹田」3駅の停車回数を増やします。

注意：この資料(別紙含む)の列車時刻につきましては、2004年7月23日現在の時刻を掲載しております。最終的な列車時刻は2004年9月18日発売予定のJR時刻表10月号でご確認ください。

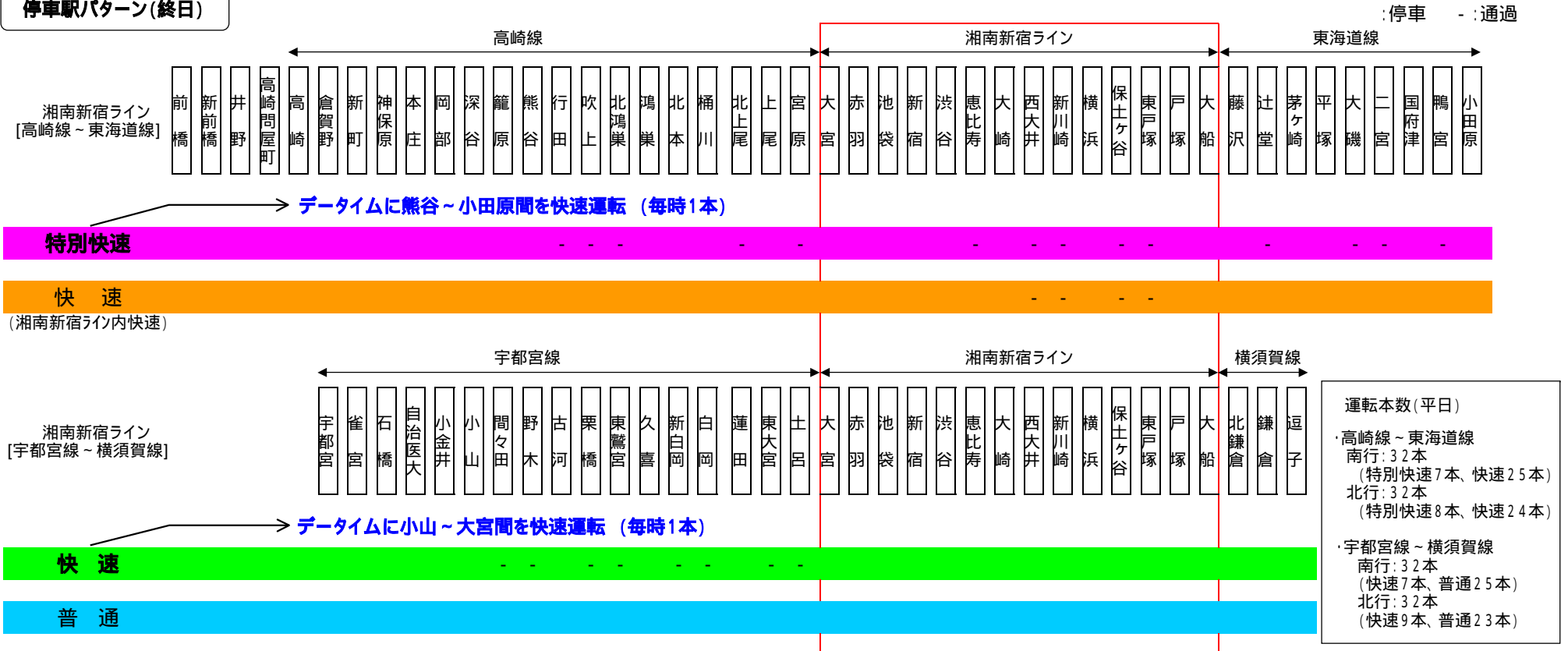
湘南新宿ライン朝通勤ピーク 1 時間の運転列車と停車駅パターン

朝通勤ピーク 1 時間に運転する 12 本の列車の主要駅時刻

	列車	発 駅	横浜 ^発	渋谷 ^発	新宿 ^着	行 先
北 行	2620E	国府津	7:34	8:02	8:07	高崎
	1620E	逗子	7:42	8:10	8:15	宇都宮
	2630E	小田原	7:54	8:19	8:24	籠原
	1630E	逗子	8:02	8:30	8:35	小金井
	2640E	小田原	8:11	8:38	8:42	高崎
	1640E	逗子	8:24	8:50	8:55	小金井

	列車	発 駅	大宮 ^発	池袋 ^発	新宿 ^着	行 先
南 行	1120Y	小金井	7:34	7:59	8:04	大船
	2130Y	前橋	7:42	8:08	8:13	平塚
	1130Y	宇都宮	7:51	8:17	8:22	大船
	2140Y	深谷	8:03	8:27	8:32	小田原
	1140Y	古河	8:09	8:33	8:39	逗子
	2150Y	高崎	8:19	8:44	8:49	国府津

停車駅パターン(終日)



普通列車グリーン車の新たな料金・ご利用方法

普通列車グリーン車の料金を改定します

新グリーン料金にはあらかじめ駅でお求めいただいた場合の事前料金とグリーン車に乗車後お求めいただいた場合の車内料金があります。

また、土休日及び年末年始（12/29～1/3）は平日料金に比べ200円おトクなホリデー料金となります。

グリーン車をご利用の際は、駅であらかじめグリーン券をお買い求めください。

10/15までの普通列車グリーン料金

50kmまで	100kmまで	150kmまで	151km以上
750円	950円	1620円	1900円

10/16からの新普通列車グリーン料金

平日料金

	50kmまで	51km以上	料金差 250円
事前料金	750円	950円	
車内料金	1000円	1200円	

ホリデー料金（土休日及び年末年始）

	50kmまで	51km以上	料金差 250円
事前料金	550円	750円	
車内料金	800円	1000円	

グリーン定期券を値下げします

例：主な区間の1ヶ月グリーン定期券の発売額

設定区間	現行	改定後	値下げ額
東京～川崎 18.2km	30,960円	30,820円	140円
東京～横浜 28.8km	46,670円	45,550円	1,120円
東京～大船 46.5km	65,100円	53,000円	12,100円
東京～茅ヶ崎 58.6km	71,240円	69,140円	2,100円
東京～平塚 63.8km	84,290円	71,220円	13,070円
東京～鎌倉 51.0km	66,460円	64,360円	2,100円
東京～津田沼 26.7km	46,670円	45,550円	1,120円
東京～千葉 39.2km	51,700円	50,580円	1,120円

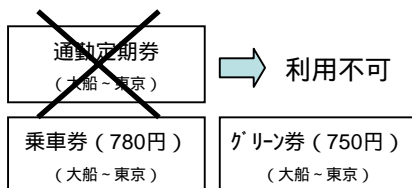
新規設定区間

設定区間	現行	改定後	値下げ額
新宿～上尾 35.6km	-	50,450円	-
新宿～高崎 102.1km	-	91,760円	-
新宿～蓮田 36.3km	-	50,880円	-
新宿～宇都宮 106.6km	-	93,020円	-
上野～上尾 34.9km	-	49,000円	-
上野～蓮田 35.6km	-	50,450円	-

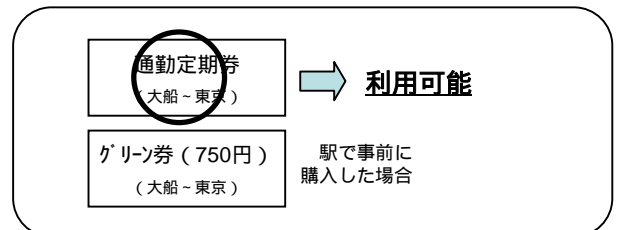
通勤・通学定期券で普通列車グリーン車をご利用いただけるようになります

例：大船～東京間の通勤定期券をお持ちのお客さまが普通列車グリーン車を平日にご利用になる場合

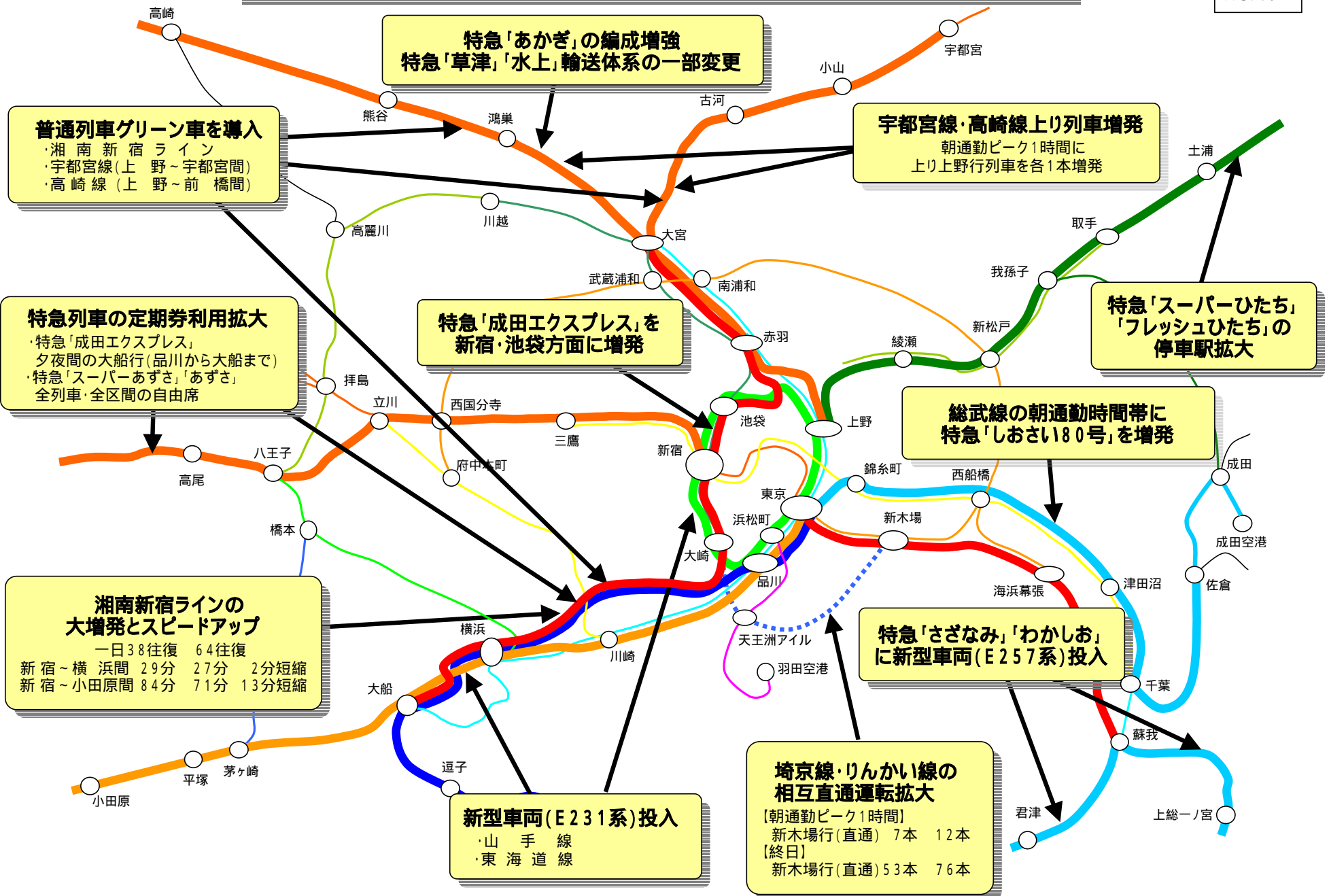
10/15まで・・・1,530円でグリーン車乗車可能



10/16から・・・750円でグリーン車乗車可能



2004年10月ダイヤ改正施策(東京圏輸送)



**特急「あかぎ」の編成増強
特急「草津」「水上」輸送体系の一部変更**

普通列車グリーン車を導入
 ・湘南新宿ライン
 ・宇都宮線(上野~宇都宮間)
 ・高崎線(上野~前橋間)

宇都宮線・高崎線上り列車増発
 朝通勤ピーク1時間に
 上り上野行列車を各1本増発

特急列車の定期券利用拡大
 ・特急「成田エクスプレス」
 夕夜間の大船行(品川から大船まで)
 ・特急「スーパーあずさ」「あずさ」
 全列車・全区間の自由席

**特急「成田エクスプレス」を
新宿・池袋方面に増発**

**特急「スーパーひたち」
「フレッシュひたち」の
停車駅拡大**

**総武線の朝通勤時間帯に
特急「しおさい80号」を増発**

**湘南新宿ラインの
大增発とスピードアップ**
 一日38往復 64往復
 新宿~横浜間 29分 27分 2分短縮
 新宿~小田原間 84分 71分 13分短縮

新型車両(E231系)投入
 ・山手線
 ・東海道線

**特急「さざなみ」「わかしお」
に新型車両(E257系)投入**

**埼京線・りんかい線の
相互直通運転拡大**
 [朝通勤ピーク1時間]
 新木場行(直通) 7本 12本
 [終日]
 新木場行(直通) 53本 76本